

沖縄

めんそーれ!

縄



手

仕事

展

Exhibition
of OKINAWAN
Handicrafts

2022

10.1^土 - 11.27^日



- 1 琉球ガラス 鉢
愛媛民藝館蔵
- 2 琉球玩具 闘鶏
愛媛民藝館蔵
- 3 琉球玩具 闘鶏
愛媛民藝館蔵
- 4 芭蕉布 絣
愛媛民藝館蔵

※新型コロナウイルス感染症等の影響で、会期、開催予定が変更になる場合があります。
最新情報は、ホームページ、Facebook、Instagram をご覧ください。

主催：公益財団法人 愛媛民藝館

時間：9：00～17：00（最終入館は16：30）

休館日：月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、地方祭

入館料：大人 200 円、中高生 100 円、小学生 50 円、団体割引 30 名様以上半額

愛媛民藝館

EHIME Folk Crafts Museum



沖縄

めんそーれ!

縄 手 仕事 展

Exhibition
of OKINAWAN
Handicrafts

2022

10.1(土) - 11.27(日)

沖縄やちむんフェア 展示即売会開催

10月29日(土) ~ 11月20日(日)

やちむんとは、沖縄の方言で焼物のこと。

沖縄らしい大胆で色鮮やかなやちむんが並びます。

「民藝」という言葉が世に誕生してから100年を迎えようとしています。その言葉を生み出した柳宗悦は、およそ90年前、日本中を訪ね歩き、これまで目を向けられることのなかった人々の生活に用いられる日本の手仕事に美を見出しました。その一つ、かつて「琉球王国」と呼ばれた沖縄は、中国をはじめとする東南アジアの国々の影響を受け、日本の風土とは異なる独自の文化が发展していました。そこで柳は、自然と人々の暮らしが寄り添い、その土地で作られる職人の手仕事の健全さに心を奪われたといいます。

本土復帰50年を迎え、沖縄にとって節目となる本年、改めてその自然と歴史が育んだ文化の豊かさに関心が寄せられています。今回、愛媛民藝館においても、その一端に触れるべく、沖縄の主要な伝統工芸品である芭蕉布、やちむん(焼物)、ガラスなどを館蔵品より紹介します。中でも、戦後、後世へと引き継ぐべき伝統工芸として柳が復興し、その美を讃えた芭蕉布は、大宜味村喜如嘉で守り続けられてきたもののづくりの原点であり、多種多様な縞紋様の美しさは必見です。

日本や中国と交易を繰り返して、華やかな文化を誇った沖縄の伝統と手仕事に心を寄せるとともに、色彩豊かな「琉球の富」を、この機会にぜひご覧ください。

- 1 芭蕉布 縞 愛媛民藝館蔵
- 2 沖縄抱瓶 愛媛民藝館蔵
- 3 沖縄酒器 カラカラ 愛媛民藝館蔵
- 4 琉球ガラス 蓋物 愛媛民藝館蔵
- 5 琉球ガラス 置物 愛媛民藝館蔵
- 6 琉球ガラス ワイングラス 愛媛民藝館蔵

アクセス

- ◆ 松山自動車道 「いよ西条インタ」より車で約15分
- ◆ JR予讃線 「伊予西条駅」より車で約5分
- ◆ せとうちバス 「西条市役所前」下車徒歩約3分
- ◆ 駐車場15台(五百亀記念館の駐車場もご利用いただけます)

【お問合せ】

公益財団法人 愛媛民藝館

〒793-0023 愛媛県西条市明屋敷238-8

Tel/Fax 0897-56-2110 / ehimemingeikan.jp

愛媛民藝館

EHIME Folk Crafts Museum

